

社会民主党 佐々木あけみ
山口県議会議員

絆きずな通信



No.58
2014年 晩秋

〒755-0026 宇部市松山町1-11-11 | E-mail : sdpakemi@minos.ocn.ne.jp
TEL.0836-22-0895 FAX.0836-32-5700 | http://www1.ocn.ne.jp/~sdpakemi/

生活者の声のとどく政治をめざして

いま、問われている『民意』

「議会は機能しているのか。民意の代弁者とは思えない」——10月28日、鹿児島県川内原発再稼働同意の市議会を傍聴していた地元自治会長の鋭い指摘です。

『民意』とは何でしょうか。

議員がだれの立場を代弁してるかによって、民意は数の力で、しかも意図的に大きく変えられます。

県民から選ばれた議員の選択とはいえ、その結果が、必ずしも『県民の民意』とはなり得ません。

「原発」と「基地」の国策に翻弄ほんろうされている山口県民の民意も、まさしく同様です。

あの自治会長の怒りは、私の怒りです。

数の力＝『民意』にはあらず

昨年6月から、「議会改革」の名のもとに私たち少数会派の質問時間の削減や、意見書のとり扱いが、全会派一致から一定数以上で可能など、議会運営ルールが改悪されました。

その結果、これまでに「憲法改正」や「慰安婦問題」についての意見書が数の力で可決されました。

いづれも、事実誤認の政治的な意図ありありの内容です。

悔しいことに、県議会のみならず、県政も国政の意向に忠実です。

『民意』の実現のために

安倍自公政権の平和と民主主義をおびやかし、格差を広げる弱肉強食政治のもとで、私の責任と任務は、いっそう大きくなったと自覚しています。

「働く人や社会的弱者といわれる人たちの議席」「護憲・平和の議席」「脱原発の議席」——これが、私の代弁すべき『民意』です。

現状への怒りと使命感を原動力に、初心忘れず挑戦しつづけます!!

朝夕は、寒さ対策が必要となりました。

みなさま、お元気で!!

2014年11月7日 記

佐々木あけみ



10月25日 上関町室津で

本気
本気ですれば
大抵のことが
本気ですれば
何でもおもしろい
本気でしていると
誰かが助けてくれる
長野県の
ある住職のことば